

いわちゃん ポスト

千葉県議会議員

岩井 やすのり



1970 年生まれ 専大卒・早大院修了 4 期目現職(印西市・栄町選挙区)

栄町安食台 2-26-23-202 fax0476-36-7802 mail@iwai-y.jp

県公立高入試で採点誤り

マークシート式導入など改革へ

今年2月に実施された県公立高入試において、98校で933件が発覚した採点誤り。県教委が再発防止策を発表する一方、全受験者への答案写しの返却の実現が求められます。

●前年度分でも4校中3校40件が発覚

問題発覚のきっかけとなったのが、県立小金高校受験者による自己情報開示請求です。同校で当該受験者の答案を確認したところ、採点誤りがあったことが判明し、さらに他受験者についても再点検したところ、複数教科で複数名にわたる採点誤りが発覚。これを受け、県内全受験者の答案の一斉点検を実施したところ、県立高校120校中92

校870件、市立高校7校中6校63件の採点誤りが明らかとなったのです。

また、県立津田沼高校(2名)、県立松戸高校(1名)など計5校6名の受験者については、本来合格とすべき受験者を不合格としていたこと、保管していた令和4年度学力検査の答案についても、4校中3校40件の採点誤りが確認され、令和4年度以前の入学者選抜学力検査においても多くの採点誤りがあったと推察されることは特に重大です。

●マークシート式導入など5つの改善策

県は採点誤りの原因として、採点期間の短さ、長時間にわたる採点業務、採点作業に集中できない採点者の環境、解答用紙における小問得点記入欄の不備を挙げ、構造的な問題があったことを認めています。その上で、マークシート式学力検査問題の採用、合否ボーダーライン付近の答案点検の実施、採点・点検を行うための臨時休業日の追加設定などの改善策を発表しています。

●全受験者に答案写しデータの返却を

採点誤りを発見するための最も効果的な方法は、自身の答案を見て確認すること。しかし、学力検査の「点数」は、簡易な手続きにより請求した当日に知ることができる一



県道鎌ヶ谷本埜線バイパス 来年3月開通へ

●2020 年春の開通予定が延び延びに

県道鎌ヶ谷本埜線バイパスは、印西市・印旛日本医大(いには野)地区～栄町・安食間の4.5kmを結ぶ新設道路です。開通により、千葉ニュータウン地区から成田空港までのアクセスが向上するほか、栄町としても、北総線各駅や地域の拠点病院である印旛日本医大までの時間短縮が実現。通勤・通学の利便性向上、物流機能の充実などが期待されてきました。

しかし、旧長門川橋の架橋工事において地盤が想定を超えて軟弱だったことが発覚し、2020年春としていた開通予定が2021年上旬に延期。その後も工期延長が繰り返され、開通時期が延び延びとなっていたのです。



そのような中、今年4月によりやく架橋の本体工事が終了。一部区間の舗装や交通標識、表示等の整備が残るものの、来年3月の開通見込みが立ったとして 正式発表に至ったわけです。

●成田への新ルート 吉高交差点渋滞軽減を期待

鎌ヶ谷本埜線バイパス開通のメリットの一つは、北千葉道路と並行する印西⇄成田のルートとなること。深刻化している北千葉道路・吉高交差点の渋滞問題についても、その軽減が期待されています。



ヒューリック社の施設イメージ

一方、他地域からの流入が続き、今年度は人口増も達成している栄町(人口増となっている県内自治体は印西市を含め3市町だけとのこと)では、隣接地区における、ヒューリック社による1千億円規模の物流施設事業計画が発表されたばかり。バイパス開通により、地域での企業誘致、住戸開発など大きなチャンスを迎えています。

方、「答案自体」を確認するためには複雑な手続きが必要で。

令和6年度入試からは各受験者の答案をスキャンし採点することとなるため、答案写しのデータを受験者に返却することがより容易となります。9月県議会本会議ではこの点を指摘した上で、県公立高入試において、全受験者に答案写しを返却することについて強く要望いたしました。

高校入試の結果は、受験者の人生を大きく左右するほどの大きな影響を与えるものであり、採点誤りが発生することがないよう、引き続き対策の強化を求めています。

3月より安食駅等にコールシステム券売機の終日稼働に期待



●駅員不在時間が長くなる可能性も

朝や夜の時間帯には、駅員不在のため自動券売機が停止し、きっぷの精算や Suica のチャージなどでも不便を強いられている JR 安食駅、下総松崎駅。来年 3 月よりお客さまサポートコールシステム（改札口コールシステム）が導入される予定となったことから、券売機の終日稼働が再開される可能性が高まっています。

改札口コールシステムというのは、きっぷに関しての問い合わせ、きっぷが改札口を通らない等の場合に、インターホンを通してオペレーターに繋がるというもの。同システムが導入されている岩井駅、富浦駅などでは、駅員不在でも券売機が終日稼働するようになっていることから、安食駅や下総松崎駅でも券売機稼働時間の改善が期待されています。

JR 社によれば、改札口コールシステムの導入は来年 3/12。小林駅、木下駅でも導入されるとのことです。ただし、券売機の終日稼働については未定であり、ゆくゆくは駅員不在時間帯が長くなる可能性がある点は、注意していかなければならないと思っています。

冠水対策実施も道半ば 印西市岩戸

大雨の度に深刻な冠水被害に見舞われてきた、印西市岩戸の県道千葉臼井印西線。近隣住民から対策を求める声が上がっています。

●セブンイレブン岩戸店より北 100 ㍎の区間

問題となっているのは、セブンイレブン印西岩戸店前交差点から北に 100 ㍎ほどの区間。周辺より土地が低位にあるため、台風等による大雨時には決まって深刻な冠水被害に見舞われ、車が動けなくなる光景も珍しくありません。



岩井にこの問題が寄せられたのは6月上旬。要望者や県担当課とともに現場確認を重ねた上、6 月県議会に続き 9 月県議会・常任委員会にてこの問題を取り上げ、同区間の冠水対策について質したところ。これを受け、県は岩戸地区の問題箇所排水対策を実施するとして工事に着手したところなのですが、9 月に相次いだ集中豪雨でも車両が冠水するなどしており、冠水対策は道半ばの状況です。

●バイパス道路工事前倒しで本格対策を
ところで、現地は県道八千代宗像線バイパスが整備されることとなっており、その着工時に本格的な排水対策が講じられる見込み。しかし、その道路工事は八千代市側から進められる予定で、岩戸地区の着工時期は白紙の状態なのです。

そこで、バイパス道路・岩戸区間を前倒し着工し、岩戸の冠水危険箇所の抜本対策に着手できないか要望してまいります。



印西牧の原駅へのアク特急停車 県に強く要望

周辺人口の増加が著しい印西牧の原駅。県議会本会議において、アクセス特急停車などの取組みを求める一方、連合自治会からは北総鉄道社に要望書が提出され、地域の声は大きくなりつつあります。

●「特急電車への乗り換えが必要で不便」

昨年 10 月に鉄道運賃が値下げとなり、特に子どもが通学利用する家庭の負担軽減が実現した北総線。しかし、印西牧の原駅を通勤等で利用する市民からは、アクセス特急が停車しないことについての不便の声が上がってきました。

印西牧の原駅に停車するのは、普通電車と北総・特急電車の上り 5 本、下り 2 本のみ。朝夕を問わず運行されるアクセス特急が停車しないため、「特急電車への乗り換えが必要で不便」との切実な声が聞かれます。

●県「北総鉄道社と意見交換していく」

ところで、千葉県は北総鉄道社の株式を 20% 以上も保有する、京成電鉄社に次ぐ大

印西牧の原駅へのアク特急停車について

- 京成電鉄社からの回答(令和元年)
- ・同駅の乗車人員は、千葉ニュータウン中央駅等と比較しそう多くない
- ・臼井駅等にはアクセス特急の停車要望があるものの、印西牧の原駅についての要望はほとんどない
- ・以上のことから、印西牧の原駅へのアクセス特急の停車は考えていない



株主です。しかし、これまでは年に 1 回程度、北総鉄道社から経営に関する報告を受けるのみで、県民福祉の向上に資する働きかけはほぼ皆無でした。

県に「もの言う株主」になれと言うつもりは毛頭ありませんが、同線を通るだけの空港利用客ばかりでなく、日々利用する沿線住民にも目を向け、その利便性向上への働きかけにより積極的であるべきと考えます。

9 月県議会では、アクセス特急が停車しない印西牧の原駅の現状を指摘。県は「北総線の利用者サービスの向上の確保の取組みに関する含め、北総鉄道社と交換していく」との、これまでにない答弁を引き出すことができました。引き続き、県による同社への取り組み状況について目を向けてまいります。

●地元自治会連名で北総鉄道社に要望

さて、令和元年に京成電鉄社が明らかにした、アクセス特急が印西牧の原駅に停車しない理由は、「乗車人員の少なさ」と「要望の声がほとんどない」ということ。周辺人口の激増により乗車人員が増加傾向にある中、この 10 月には地元自治会の連名で、印西牧の原駅へのアクセス特急停車等についての要望書が提出されるとのこと。その機運は高まりつつあるところ。地元住民の声を一つにし、北総鉄道社や京成電鉄社、千葉県への息の長い働きかけが求められるところです。

最後になりますが、安食交差点内にある

●**コンクリートブロック撤去は信号機移設時**
最後になりますが、安食交差点内にある